

第3回庁内合併研究プロジェクト会議 議事録

日時:平成14年10月10日13時～
場所:富良野市役所議会説明員控え室

【座長挨拶】

前回第2回研究プロジェクト(9月26日)から本日までの動きは、2つある消防組合の広域再編に向けて10月2日幹事会を開催し、10月15日に首長会議で決定していく予定。

1. 第1ステージ(行政内容状況比較)について(事務局報告)

前回、委員さんから、5市町村の行政内容状況について多くのデータをいただいた。この情報を住民へ提供していくことは、先日の沿線課長・係長会議において「各お家の事情もあることだし、市町村振興協会や町村会などで公表しているものに限っては」という意見が出された。公表されているものは、内容を抜粋してHPや広報などで提供していくが、それ以外のデータは、今後、圏域で共同の研究組織が設置された場合、そのなかで議論していきたい。

2. 広報11月号の掲載内容について(事務局提案)

【各委員さんの意見】

・記事の追加は無いのか？掲載の確認のみか？生活日常圏の拡大の資料を見ると富良野市と合併しようという印象を与えかねない。

・人口推計は、過去の推移より、将来の人口推計を入れたほうがいい。

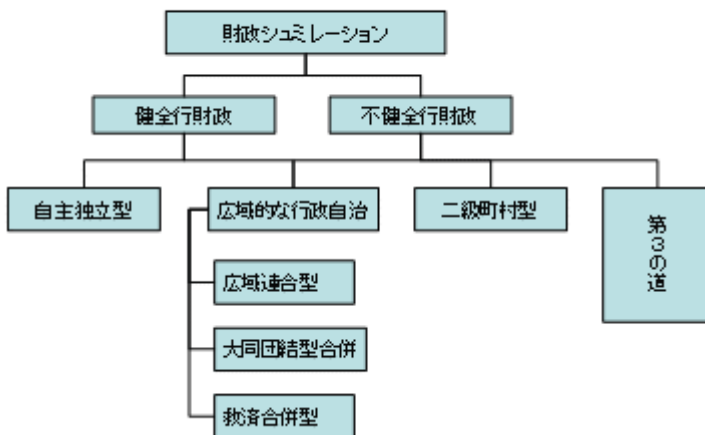
・人口推計は、より厳しい数値を入れたほうが現実的でないか。

・保健福祉部では、介護保険計画を策定する際に推計したデータがある。

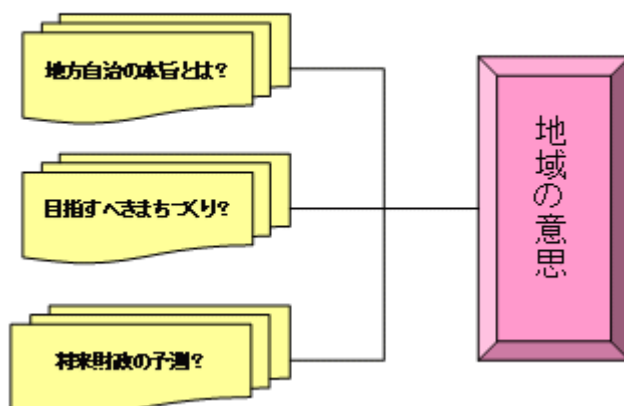
[日常生活圏データ](#) 見たい方はこちらをクリック

3. 合併論議を進めていくうえで、まちづくりとは何か？

目指すべき自治に向けた自治体の選択



合併論議の出発点



【各委員さんの意見】

- ・健全財政ができないから合併するのか？お金のことで合併するのはおかしい。しかし、つきまとうのはお金のことであり、これは無視できない。
- ・現在は歳出を考えた歳入でやっている。歳入に見合った歳出を考えているのか？
- ・利用する人のことを考えて公共施設を建てているか。
- ・自分たちのまちづくりは何を目指しているか。まちづくりについて、どう考え、どうすすめていくかが大切。
- ・高齢者の増加で今後、暮らしていくには、施設があれば越したことない。しかし、地域活動などは老人が中心になっている。いくつになってもやりたいことができる地域をつくっていくことが大事。このことは意識をつくっていかないと成り立っていかない。物を作ればいいまちになるとは限らない。神戸は人の力で震災後立ち直った。
- ・最低限何がないと暮らしていけないのか。お金で買えない健康や地域コミュニティをつくっていくことが必要。
- ・これからのまちづくりは、身近な地域づくりに視点が移るのではないか。
- ・みんなが納得できる地域づくりが必要。
- ・人に対して予算を使う価値観が大事。
- ・教育、環境、福祉に予算を使えるようにしたい。
- ・合併論議は財政ありきでも仕方ないと思う。
- ・まちづくりは、何を大事にしたいかということ、住民とともに考えていくことである。
- ・富良野の産業構造はしばらく変わらないと思う。住民は今の水準でサービスを求めているが何を削減するのか考えないといけない。いずれ厳しい判断をしないといけない。どっちに転んでも厳しい時代がくる。
- ・地方では役場が一番の産業なので、合併先はそれなりの理由を求めると思う。
- ・身の丈を考えた財政でまちづくりを行わないといけない。
- ・合併先の住民にとって病院が近くにならないため、大きな町へ移動した場合一層過疎化が進む。
- ・今、合併論議で問題になっているのは「Aの例でもみられるように、既存組織の縄張り意識である。
- ・まちづくりに関する基本的な考え方を整理し、「こういうまちをつくるんだ」という将来像をこのプロジェクト会議で示していくべき。
- ・住民に対し、今まで変わらない生活レベルを維持していくには、これからの方針をきちんと示すべき。
- ・山部、東山の場合、権限を持たせていないから支所の人数が減ってしまっている。
- ・現状で見直すところは見直し、市民に対してどういったものを提供できるか説明する責任がある。
- ・社会資本の整備がどのような水準になっているか示したほうがよい。
- ・学校の統廃合の場合、親の方が学校が無くなったら困るという話を聞いた。子供にとって集団活動の教育が行えないことも問題である。
- ・これからのまちづくりは子供だけでなく高齢者のことも考えるべき。集まれる施設が無いと人は住めない。人が一番大事。若い人の就業先があればいいが、ないとお年寄りだけになる。街中にセンターを置いてお年寄りが集まれることも大事
- ・近いところなら行ける人もいるが誰でも行ける状況を作らないと平等なサービスが受けられない。

4. 平成22年推計試算(事務局試算)

【委員さんの意見】

- ・予測できない数字があるので市税などはそれなりの数字を出さないといけない。
- ・市民の目でみれば合併選択は健全な財政を維持するためと見られる。
- ・合併した場合、合併特例債の恩恵などお金の面で議論されているように見える。

5. 第4回研究プロジェクトのテーマについて

- ・まちづくりと何か、どういったまちづくりを目指すのか、じっくり議論しよう。
 - ・目指すべきまちづくりに向けて、健全財政を保つにはどうしたらよいか議論しよう。
- 次回に開催は、11月12日(火)午後3時から大会議室で行います。

[戻る](#)